

暁鐘

ぎょう

しょう



第111号
R5.2.1 発行

大山公民館だより【670号】

日田市大山公民館
日田市大山町西大山 3600 番地
TEL: 0973-52-3255 FAX: 0973-52-3315
<http://www.hita-k.org/oyama/>
oyama-k@hita-net.jp



「20歳のつどい」に参加する大山地区のみなさん

「20歳のつどい」が開催されました

成人年齢が18歳に引き下げられたことから、日田市では1月8日（日）パトリア日田において「令和5年日田市20歳のつどい」と名称を改め開催されました。

日田市全体で533名、大山地区では対象者21名のうち14名が参加しました。

例年通りの式典ほか、今年は20歳の方で実行委員会を組織し式典の企画・運営を実施。「学校恩師からのお祝いメッセージビデオ」や、「学校生活の思い出写真スライドショー」などを流しました。

記念品贈呈では、おおやま西峰自治会の^の大庭希愛さんが地区代表として記念品を受け取りました。



代表で記念品を受け取る大庭さん

ありがとう！大山中学校生徒によるボランティア活動

大山中学校生徒のみなさんがボランティア活動の一環で育てたパンジーの花を昨年12月大山公民館に寄贈していただきました。

パンジーのプランターは公民館駐車場付近に設置、公民館利用者の目を楽しませてくれています。



大山中学校生徒さんは年2回ボランティアで大山公民館の清掃もしてくれています。

夏の暑い時期には窓ふきと草取りを、秋には駐車場いっぱいの落ち葉を掃いてくれるので本当に大助かりです。

積極的に「地域のために自分ができること」を実践する中学生の姿に感心します。

「サククスで楽しもう！懐かしのメロディー」演奏会を開催

大山公民館主催による「サククスで楽しもう！懐かしのメロディー」演奏会を1月22日（日）大山文化センターで開催、66名の聴講者が参集しました。サククス奏者の園田豊士さんは1950～1980年代の映画音楽・洋楽・日本の歌謡曲など20曲程度演奏しました。

また、大山町中川原の江田通徳さんが友情出演し、股旅物「一本刀土俵入り」と、前津江町曾家の綾垣虎雄さんが作詞した「お米さんありがとう」の2曲にあわせて舞踊を披露しました。

参加者は「歌を口ずさんで50年前の思い出が蘇った」と話していました。



お正月フラワーアレンジメント

女性セミナー

毎年恒例の女性セミナー「お正月フラワーアレンジメント」講座を12月24日に開催、講師の後藤尚美さんによる指導で華やかなアレンジメントを完成させました。



大山町移住者交流会を開催しました



幼児・小学生とご家族が多く参加しました

この日は大山町住民のご家族6世帯18名、大山へ移住されたご家族6世帯13名が参加しました。

交流会では各ご家族の自己紹介後、大山町の江田孝子さんの指導により「折り紙で作る干支のうさぎ」ワークショップを行い、会場は和やかな雰囲気で開催者の会話が弾みました。

大山町に移住して10年になる田邊さんに「先輩移住者からのおはなし」をしていただきました。

昼食では食生活改善推進協議会大山支部の皆さんが調理したカレーを参加者で会食しました。



食推協大山支部のみなさんがカレーを調理

日田市は平成28年から令和3年度まで6年連続で大分県内の市町村の中で移住者数がNo.1となっています。

この要因として「空き家バンク利用者への補助」など日田市の「移住・定住施策」活用があげられます。

過去6年間での日田市への移住者は1,356世帯、大山町への移住者は46世帯いらっしゃいます。

大山町住民の方と、大山町へ移住して来られた方との「交流会」を12月4日（日）大山公民館主催（協力 日田市ひた暮らし推進室、大山振興局、大山集落支援員、NPO法人リエラ）で大山公民館にて開催しました。



大山にお嫁さんに来たママも地域の人と繋がりました

移住体験ツアーなどの「移住支え合い事業」を行っているNPO法人リエラの河津さんより「日田市への移住希望者」に対し「空き家バンク」登録数が全然足りていません。情報提供のご協力をお願いします。」とお話がありました。

「大山マルシェ実行委員会」の朝倉真紀さんは「大山マルシェにぜひ立ち寄ってください。マルシェへの出店も大歓迎です。」とお話しされました。

参加者からは「今後の広がりにワクワクを感じた」「郷土料理教室などほしい」など感想が寄せられました。



調味料「塩」を通して環境学習～「みんなの料理教室」研修視察

大山公民館「みんなの料理」教室生12名は1月18日、福岡県糸島市芥屋にある「またいちの製塩所工房とったん」に、塩ができる工程を見学に行きました。糸島半島の突端（とったん）にあることから「とったん」だとか。

この工房では単に塩を作るだけでなく、①プラスチック使用ゼロに向けての取り組み②工房スタッフ全員による海岸線のゴミ広い③塩づくり工程で使う燃料は廃材をリサイクルするという環境活動にも取り組んでいます。

工房スタッフの方は「山や海や綺麗な環境があって初めて良い塩ができます。」とお話しされました。

この日教室生は糸島市にある「志摩歴史資料館」も訪問し旧志摩町から出土した考古資料展示物を見学しました。玄界灘に突き出た糸島半島の志摩では、朝鮮半島や大陸との交流を示すものや、漁をする道具など海との関わりのある遺物が出土していました。



製塩所を見学する「みんなの料理教室」教室生

久しぶりの県外への研修視察を通して、教室生同士の親睦も深まりました。

大山公民館 これからの予定

- 2月 8日（水）女性セミナー 手ぬぐい一枚で作る「あすま袋」作り 講師 松下美智子さん
- 2月15日（水）みんなの料理教室 「山菜の天ぷら」講師 穴井喜文さん
- 2月28日（火）大山公民館運営委員会視察研修 視察先 福岡市舞鶴公民館
- 3月15日（水）いきいき大学 「ぼくとおかんと介護のはなし」講師 佐藤康雄さん
- 3月18日（土）女性セミナー テーブルマナー講座 「ゲストハウス山海」
- 3月19日（日）大山ウォーキング大会（大山スポーツ協会主催 大山公民館共催）
- 3月26日（日）大山っ子チャレンジ教室 最終講 人権講座

館長の一日

新しい年が始まりました。コロナ発生からすでに三年が経過していますがその勢いは未だに衰えをみせません。日田市から感染注意の放送が連日されています。特に高齢者の方や重篤な持病のある方は注意が必要です。

そのような中で今年一月から公民館のコロナ対応が変わりました。今までの対応で得られた知見により「利用者名簿の記載提出」と「施設消毒の実施」が削除され、「適切な換気の実施」と「手指消毒液、サーモグラフィ」の設置はそのまま継続です。対人距離については「最低一メートル離れる」とありましたが「三密にならないように留意して、人と人が触れ合わない距離とする」に変更になりました（公民館ガイドライン）。そして日常生活では「マスクの適切な着脱や手洗い三密の回避、換気等基本的な感染対策にとりくみましょう。」（厚生労働省）としています。お互いにそれなりの注意をしながら集まり、会話を楽しんでいただきたいと思います。

本来公民館は多くの方たちが集い、学び、繋がる場所です。「コロナ対応」で真逆のことをここ三年ほど続けていました。今年こそ公民館で子供たちの嬉々とした声が聴ける、成人の方たちが楽しく談笑する、自慢のものを披露する、また創作活動に夢中になれる場として利用して頂きたい。各世代や各団体の方の話し合いや交流の場として公民館がより身近に感じられる「好民館」として、そして考える「考民館」、考えを耕す「耕民館」、それぞれがハッピーになれる「幸民館」をみなさん方と一緒に創っていききたいと思っています。これから

（黒川）